

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（静岡県 平成23年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
伊豆国市	伊豆の国農業協同組合	野菜(いちご)	【野菜】(病害虫による農作物被害の防止)事業実施地区において病害虫の被害率の低減	33.1%	—	2.1%	7.2%	7.0%	99.2%	株枯れ症による被害率は25.9ポイント低下した	【野菜】(付加価値の向上)事業実施地区においてブランド品割合の増加	0.0%	0.0%	66.1%	96.9%	90.0%	107.6%	ブランド品割合は96.9ポイント増加した	種子種苗生産関連施設 鉄骨屋根型温室7連棟 2,949.5㎡ 自動換気装置、冷房設備、 植料二重カーテン装置 親株育苗ベンチ3段 6条×28列(自動給液設備) 防除設備、土壌消毒設備 各1式	82,816,056	39,435,000		49,380,056	H22.2.27	施設で生産された親株を利用することにより、良質の定植苗が育成でき、いちごの安定生産の体制が整った。	親株増殖施設内における生産及び出荷段階では病害の発生は認められなかったが、受益農家への配布後に根腐れ症状の発生が認められ、目標を下回った。今年度、病害の発生を防ぐために高温対策等、生産方法の見直し・改善を指導する。	
富士宮市	(有)TOPICS	豚肉	【豚肉】(豚の家畜改良増殖)飼養頭数の増加	135頭	—	192頭	210頭	200頭	115.3%	母豚の飼養頭数が5%増加した	【豚肉】(豚の家畜改良増殖)能力(離乳頭数)の向上	10.35頭	—	10.50頭	10.97頭	10.61頭	238.4%	離乳頭数が5.9%増加した	種豚A1舎 280.32㎡ 種雄豚検定舎 513.60㎡ 種豚舎 639.80㎡ 分娩舎 474.24㎡ 離乳育成舎 567.52㎡ 肥育舎A 1042.52㎡ 肥育舎B 1042.52㎡ 管理棟 93.57㎡ 機械等設備 一式 電気設備 一式 給排水設備 一式 場内環境設備 一式	391,537,219	181,456,000		204,081,219	H22.8.31	母豚飼育頭数・離乳頭数ともに目標数を上回っていて、目標が達成された。	母豚飼育頭数・離乳頭数ともに目標を上回り、県内外の養豚農家へ安定的に種豚供給が図れている。	
静岡市	(有)ネクスト	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(茶葉の品質向上)事業実施地区において下級茶歩留りの低減	43.9%	44.5%	39.5%	35.5%	30.0%	60.4%	下級茶歩留りは6.4%低下した	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	4.1ha	4.4ha	4.7ha	5.0ha	5.0ha	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は21.9%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機 2台 ・葉打機 3台 ・粗揉機 3台 ・揉捻機 4台 ・中揉み機 1台 ・中揉機 6台 ・荒茶仕上げ工程 一式	181,938,000	87,500,000	35,036,000	61,313,000	H21.3.25	導入した製茶機械を活用した生産体制により、高品質茶の生産が増えた。下級茶歩留まりを改善するため、早生品種の導入や防霜ファンの設置により相場が高い時期の出荷量を増やしてきた。今後は、相場の安い時期の取引について、自社小売による単価の支えと、茶商と契約取引をさらにすすめ、安定した価格帯を維持する。	高品質品種の植栽をさらに進めるとともに遊場所を中心として防霜施設の整備、早生品種の植栽、自社小売による単価の支え等により、下級茶歩留まりの低減を図ることが期待される。	
静岡市	マルカブ佐藤製茶株式会社	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(コストの削減)事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	373円/kg	358円/kg	427円/kg	383円/kg	296円/kg	-13.3%	荒茶1kg当たり加工コストが2.6%増加した	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	85a	90a	104a	177a	135a	184.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は108.2%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機5台	37,276,000	17,750,000	7,100,000	12,425,000	H22.3.25	荒茶生産量を確保するため、生葉会員を増やす取組や非作放棄地の再生の取組により、計画どおりの荒茶生産量を確保し、効果的な施設の稼働を行うことにより、荒茶加工コストの低減を図る。引き続き高品質品種の植栽を計画的に進める。	高品質品種の植栽をさらに進めるとともに、委託していた生葉の荒茶加工や貸借による茶園面積の拡大を通して、荒茶生葉の移転を行うことにより、荒茶加工コストの低減を図ることが期待される。	

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・産種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・産種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別採算の取組の具体的な実績③	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率			成果目標の具体的な実績①	計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)				達成率	成果目標の具体的な実績②	交付金	都道府県費					市町村費	その他
静岡市	(有)グリーンエイト	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において下級茶歩留りの低減	61.0%	41.0%	63.7%	60.0%	45.0%	6.2%	下級茶歩留りは1.0%低下した	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	1.33ha	1.33ha	1.45ha	1.24ha	1.61ha	-32.1%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は6.7%減少した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 120K1.5ライン2系統 葉打機2台	15,950,000	9,500,000	3,800,000	6,650,000	H22.3.26	葉打機の導入により製茶工程が改善し、荒茶の品質向上が図られた。品質的には遜色ないが、目々下落する荒茶相場の中で、下級茶歩留まりを改善するために、早場所の生葉を出荷できるように努力してきた。今後においても、さらに早場所の確保と消費者ニーズにあった品種面積を増加させ、茶商に依存しない自販店の増加を図っていく。	早場所での茶園確保に積極的に取り組んでおり、下級茶歩留まりの低減が図られることが期待される。品種の有効な活用方法を積極的に模索しており、品種活用の方向性と販売先の確保ができれば、品種の作付面積拡大が進むと期待される。			
静岡市	新丹谷土地改良区	果樹(柑橘)	【各作物共通】(農作物被害防止)果樹の増加	1,520kg/10a	—	—	2,921kg/10a(成木換算)	2,043kg/10a	267.8%	平均単収が92.1%増加した	果樹(柑橘)	【果樹】(病害虫による農作物被害)事業実施地区において病害虫被害率の低減	30.0%	—	—	1.2%	2.0%	102.8%	かいよう病発生率が28.8ポイント減少した	・農作物被害防止施設 1,461.5m	19,341,000	8,672,000	10,469,000	H22.3.30	未成園であるため本格的な事業効果の発現については数年掛かると思われるが、今後も適正な栽培管理を行い、常に品質の良い果実が効果的に生産できる体制を整備する。	平均単収の増加と病害虫発生率の両メニューとも達成され、目標とした成果を得ていると認められる。				
静岡市	二本松土地改良区	果樹(柑橘)	【各作物共通】(農作物被害防止)果樹の増加	1,520kg/10a	—	—	2,504kg/10a(成木換算)	2,043kg/10a	188.1%	平均単収が64.7%増加した	果樹(柑橘)	【果樹】(病害虫による農作物被害)事業実施地区において病害虫被害率の低減	30.0%	—	—	1.9%	2.0%	100.3%	かいよう病発生率が28.1ポイント減少した	・農作物被害防止施設 852.5m	12,285,000	6,027,000	6,258,000	H22.3.30	未成園であるため本格的な事業効果の発現については数年掛かると思われるが、今後も適正な栽培管理を行い、常に品質の良い果実が効果的に生産できる体制を整備する。	平均単収の増加と病害虫発生率の両メニューとも達成され、目標とした成果を得ていると認められる。				
島田市	ハラダ製茶株式会社	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	472a	720a	744a	744a	730a	105.4%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は57.6%増加した	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(生産力向上)事業実施地区において荒茶生産量の増加	187.149kg	316.975kg	290.396kg	369.221kg	264.500kg	235.3%	荒茶生産量が97.2%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機 2台 ・精揉機120K 6台	85,850,000	40,900,000	44,930,000	H22.3.26	従来品種と異なる高品質品種の作付面積の割合の増加および荒茶生産量の増加とともに目標を達成している。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。				
島田市	(有)火塚製茶	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(コスト削減)事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	190円/kg	146円/kg	137円/kg	155円/kg	152円/kg	92.1%	荒茶1kg当たり加工コストが18.4%削減した	加作物・地域特産物(茶)	【加作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	31.9%	53.0%	30.0%	176.6%	契約取引割合が53.0%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸熱工程装置 2台 ・葉打機120K 1台 ・粗揉機120K 3台 ・中揉機120K 6台	86,056,000	40,394,000	46,097,000	H22.3.23	燃料の高騰により目標達成はできなかったが、今後も努力を続けられれば目標達成は可能と思われる。	加工コストは年々減少したが、重油が高騰した3年は成果目標を上回ることはできなかった。				

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	X ニユー ② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別算組の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
			147円/kg	108円/kg	105円/kg	119円/kg	117円/kg	93.3%				0.0%	0.0%	26.0%	33.0%	30.0%	110.0%					116,530,000	55,500,000							61,030,000
島田市	吹水茶産農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 (コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	147円/kg	108円/kg	105円/kg	119円/kg	117円/kg	93.3%	荒茶1kg当たり加工コストが19.0%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	26.0%	33.0%	30.0%	110.0%	契約取引割合が33.0%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉投入装置一式 ・生葉コンテナ3台 ・生葉流し計 4台 ・蒸熱工程装置 2台 ・蒸機 2台	116,530,000	55,500,000			61,030,000	822.3.23	コスト削減に努めることにより、目標達成は期待できる。	加工コストは年々減少したが、重油が高騰した23年は成果目標を上回ることはできなかった。		
島田市	湯日第一茶産農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 (コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	150円/kg	114円/kg	109円/kg	125.5円/kg	120円/kg	81.6%	荒茶1kg当たり加工コストが16.3%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	89.0%	91.5%	81.8%	30.0%	272.6%	契約取引割合が81.8%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸熱工程装置3台 ・生葉流し計 3台	47,250,000	22,500,000			24,750,000	822.3.25	加工コストは削減できたが、目標未達なので、より効率的な換装とするため茶工場主による計画操縦の徹底と、荒茶加工にかかる労務体制を見直し、乗用型摘採機との連動で生葉受入れ時の時間短縮と人員削減や加工班に臨時雇用を増やすなど、単価の高い茶師の労務費を削減し、更なるコスト削減に取り組む。	J-GAPを取得している工場であり、販売は安定しており、約80%の達成率なので、更なる削減が必要。工場の規模の別に生葉受入れ部分が非効率であり、時間と労力がかかっているため、改善のポイントである。茶師の労務費の削減と併せて改善が期待できる。		
島田市	谷口原茶産農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 (コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	180円/kg	128円/kg	174円/kg	169円/kg	144円/kg	80.5%	荒茶1kg当たり加工コストが6.1%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 (品種構成の適正化) 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	3,066㎡	4,067㎡	5,579㎡	5,579㎡	3,600㎡	470.5%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は81.9%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機120K 6台 ・中揉機火炉 1台	43,000,000	20,000,000			22,000,000	822.3.23	荒茶加工コストの削減は6%程度に留まっており、目標を達成できていない。工場の換装開始時間を見直し茶師の労務費を削減するとともに、労務単価を引き下げる。さらに、臨時雇用を導入して労務費を削減することで更なるコスト削減を図る。	労務費の削減対策に取り組むことで、茶工場の運営体制を含めて、茶園の集積や共同作業の導入などにつなげることを期待する。		

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・産種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・産種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
			単価	単価	単価	単価	単価					単価	単価	単価	単価	単価														
島田市	美緑園伊久須茶農業協同組合	畑作物・地域特産物(茶) 【(コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減】	187円/kg	157円/kg	176円/kg	189円/kg	149円/kg	-5.2%	荒茶1kg当たり加工コストが1.1%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【(畑作物・地域特産物(茶)) (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加】	0.0%	0.0%	85.5%	47.0%	30.0%	156.6%	契約取引割合が47.0%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸熱工程装置4台	10,815,000	5,150,000			5,665,000	H22.2.15	茶芽生育期の低温の影響もあり生育が抑制され、摘採適期が遅れたため、1日の摘採量が減少し、稼働日数が増え非効率な作業となったうえ、全体の生産量も減少したことが影響して目標が達成できなかったため、より効率的な作業実現のため、茶工場主導の摘採計画を徹底する。併せて、J-GAPを取得している有利性を活かして、契約販売量を拡大して「みる芽・浅刈り」に走って生産量を減らさないようにする。また、茶工場の作業体制を見直し工場労務費を削減することでコスト削減を図る。	コスト削減の達成率の低さについては、生産量も減少し、非効率な作業になったことが一因であるので、茶園の生産力を把握したうえでの摘採計画に基づいた農業と生産量自体を確保する必要がある。生産体制の改善により茶師の削減及び労働時間削減によりコスト削減が期待される。		
島田市	神尾茶農業協同組合	畑作物・地域特産物(茶) 【(生産力向上) 事業実施地区において荒茶生産量の増加】	161.47 9kg	189.33 6kg	112.91 6kg	215.90 5kg	226.00 0kg	81.6%	荒茶生産量が33.7%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【(畑作物・地域特産物(茶)) (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加】	0.0%	0.0%	30.0%	33.5%	30.0%	111.6%	契約取引割合が33.5%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機120K 1台 ・乾燥機 1台	14,700,000	7,000,000			7,700,000	H22.3.26	放射線物質対策のための更新により、全体の生産量が低下したが、今年度以降においては、目標の達成は可能と思われる。	荒茶生産量の増加が80%に留まったのは、放射線汚染の風評被害の影響があったが、生産面積の拡大にも取り組む必要がある。		
島田市	菊翠茶協同組合	畑作物・地域特産物(茶) 【(コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減】	154円/kg	108円/kg	103円/kg	116.5 円/kg	123円/kg	120.9%	荒茶1kg当たり加工コストが24.3%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【(畑作物・地域特産物(茶)) (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加】	0.0%	0.0%	30.0%	32.4%	30.0%	108.0%	契約取引割合が32.4%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸熱工程装置200K 4台 ・揉捻機 4台 ・精揉機 8台 ・製団機 1台 ・蒸葉処理機 2台 ・生葉流量计 4台	98,175,000	46,750,000			51,425,000	H22.3.24	目標達成しているが、今後一層の経費削減に努める。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。		
島田市	神谷城茶農業協同組合	畑作物・地域特産物(茶) 【(コストの削減) 事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減】	164円/kg	134円/kg	144円/kg	158円/kg	130円/kg	17.6%	荒茶1kg当たり加工コストが3.6%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【(畑作物・地域特産物(茶)) (契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加】	0.0%	0.0%	30.0%	32.0%	30.0%	106.6%	契約取引割合が32.0%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機120K 2台 ・乾燥機 1台	24,675,000	11,750,000			12,925,000	H22.3.23	放射線物質汚染の風評被害を懸念した茶商の買い控えがあり、市場(茶商)の動向を見ながらの摘採・採葉で生産量も減少して非効率になった。今後は「エコーファーマー」取得の有利性を活かして契約販売量を増加させることにも、より細かい生産計画により稼働時間の短縮を図る。	やや混雑所であるため、放射線物質汚染の風評の影響が出て生産量が計画時から約17%減少していることが大きな要因。市場の信用を取り戻して生産量が確保できれば、目標達成が見込める。		

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	事業実施後の状況① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	事業実施後の状況② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	特別加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)			達成率	計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)					目標値 (平成23年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
島田市	まるよん製茶株式会社	【畑作物・地域特産物(茶)】(コストの削減)事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	107円/kg	84円/kg	88円/kg	86.4円/kg	85円/kg	93.6%	荒茶1kg当たり加工コストが19.2%削減した	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	14.9%	37.9%	30.0%	126.3%	契約取引割合が37.9%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機 2台 ・生葉流し計 2台 ・精揉機120K 15台	120,750,000	57,500,000			63,250,000	H22.3.25	目標値をやや上回る加工コストとなつてしまった。そのため直前の燃費効率向上に向けた見直しを行ない、加工コストを削減する。なお、契約取引については、取引茶商との連携により、大きく目標を上回った。	計画時の生産量の270%と大幅に生産量が拡大しており、スケールメリットを活かしたほぼ効率的な操業ができた。今後はさらに削減するよう指導する。		
島田市	初倉飯本茶農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(コストの削減)事業実施地区において荒茶1kg当たり加工コストの削減	176円/kg	134円/kg	148円/kg	161円/kg	140円/kg	41.6%	荒茶1kg当たり加工コストが8.5%削減した	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	30.0%	30.2%	30.0%	100.6%	契約取引割合が30.2%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉カッター 4台 ・蒸熱工程装置 4台	15,540,000	7,400,000			8,140,000	H22.3.23	加工経費については、燃料の高騰により目標を達成することができなかったが、契約販売については関係機関の協力により目標を達成することができた。	コスト削減の達成率が低いので、加工体制の見直しを含めてさらなる改善が必要である。		
島田市	牧之原丸牧茶農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,508円/kg	—	1,278円/kg	1,816円/kg	1,705円/kg	156.3%	荒茶平均販売価格は20.4%増加した	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	41.3%	30.4%	135.8%	契約取引割合が41.3%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・ボイラー300K 1台 ・葉打機120K 1台 ・ケバ取り機 1台 ・色彩選別機 1台 ・合組機1500K 2台 ・計量装置機 1台 ・自動梱包機 1台	58,200,000	27,800,000			30,400,000	H22.3.18	荒茶の高品質茶生産に心がけるとともに販売先茶商との信頼関係を築いたので、成果目標の荒茶平均販売価格、契約取引ともに目標を上回ることができた。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。		
牧之原市	東萩間味香久園茶農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	125.6a	125.6a	146.8a	148.8a	148.0a	103.5%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は18.4%増加した	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,551円/kg	—	1,209円/kg	1,779円/kg	1,753円/kg	112.8%	荒茶平均販売価格は14.7%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・送帯熱機 1台 ・蒸葉処理機 1台 ・生葉水分測定機1台 ・水分取出制御機1台 ・自動制御機2台 ・生葉水分測定機8台 ・小型合組機 1台	52,500,000	25,000,000			27,500,000	H22.3.15	高品質製造に心がけ販売努力に努めたが、風評被害の影響が大きく大きな販売増加にはならなかった。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。		
牧之原市	(農)エコーグリーン静岡園	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	35.2a	35.2a	54.2a	74.2a	55.2a	195.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は110.7%増加した	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,458円/kg	—	1,165円/kg	1,234円/kg	1,650円/kg	-116.6%	荒茶平均販売価格は15.3%低下した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機ボイラー300K 4台 ・送帯熱機1300K 2台 ・蒸葉流し計 2台 ・丸煎蒸機1200K 2台	59,640,000	28,400,000			31,240,000	H22.3.15	高品質品種を導入し、計画を大きく上回る面積の導入が進み、目標を達成することができた。昨年の大雪被害の影響が残り続いていたところの茶園もあり、放射能の風評被害により、茶の取引は大変難しく、目標の達成に届かなかった。	年間の収入確保のため、秋冬番茶を計画より多く生産したため、平均価格が下がったので、全体的な生産体制、計画と合わせて改善を図る。		

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニユー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニユー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別採算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他						
牧之原市	(有)ヤマセン	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	352a	467a	544a	544a	478a	158.6%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は54.5%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	37.7%	30.5%	123.6%	契約取引割合が37.7%増加した		農産物処理加工施設 流茶加工機 ・炭打機120K 1台 ・熱風発生機120K 2台	13,545,000	6,450,000			7,095,000	H22.3.15	高品質品種の導入については、目標面積を達成した。今後高付加価値を付けた高品質品種の被覆茶生産に向けて栽培を研究し、成園時には単価上昇も見込まれる。販売茶商との連携を今後も継続し、良質な茶を提供できるよう製造技術の研鑽にも取り組んでいく。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。			
牧之原市	山は萩間茶農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(単収の増加)事業実施地区において平均単収の増加	1,092kg/10a	—	1,478kg/10a	1,662kg/10a	1,316kg/10a	254.4%	平均単収が52.5%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	28a	28a	31.4a	40.4a	38a	124.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は44.2%増加した		農産物処理加工施設 流茶加工機 ・蒸気ボイラー250K 2台 ・胴回転蒸機 1台 ・蒸葉処理機 1300K 1台 ・生葉水分測定機4台 ・水分取出制御装置4台 ・中火茶選別機 1台 ・合組機1000K 1台	59,850,000	28,500,000			31,350,000	H22.3.15	高品質品種を導入し、付加価値のある被覆茶を製造、販売することができた。機械の更新に伴い、高品質茶生産が可能となり、秋冬番茶生産の注文も入り、生葉生産量も増加し、茶農家個々の経営安定に繋がった。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。			
川根町	瀬沢製茶共同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(生産力向上)事業実施地区において荒茶生産量の増加	16,572.0kg	15,562.3kg	24,038.6kg	26,802.0kg	23,623.0kg	145.0%	荒茶生産量が61.7%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	20.7%	33.5%	30.4%	110.1%	契約取引割合が33.5%増加した		農産物処理加工施設 流茶加工機 ・生葉処理装置 1台 ・蒸機 1台 ・冷却機 1台 ・炭打機 1台 ・粗揉機 2台	32,340,000	16,170,000			6,408,000	9,702,000	H22.3.19	今後も良質茶生産を維持しつつ、生葉取割量の増加やコスト削減による茶工場経営の安定による茶農家の経営安定を目指していく。	成果目標の達成割合は100%以上であり、事業効果が現れている。		
菊川市	牧之原茶農協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化)事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	30a	30a	30a	37a	37a	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は23.3%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%	30.0%	106.6%	契約取引割合が32.0%増加した		農産物処理加工施設 流茶加工機 ・精揉分配投入装置2式 ・精揉機8台	58,800,000	28,000,000			30,800,000	H22.2.26	本事業の機械導入により機械の整備が終了し、良品質茶の製造をすることができた。今後、更なる良品質茶の製造に向けて思考し、機械を計画的に有効利用していく。	高品質品種を計画どおり作付できた。また、契約取引の実施により価格の安定が図られた。今後も良品質茶生産と価格安定に向けた取組みを継続するよう期待する。			

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニユー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別採組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率				計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
			円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	%				円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	円/kg	%					円	円	円	円				
菊川市	小笠町茶農業協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,407	1,386	1,427	1,287	1,590	-65.5%	荒茶平均販売価格は8.5%低下した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	6a	6a	6a	8a	8a	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は33.3%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機工程装置 ・連続葉打機割卸盤一式 ・精揉機120K 4台	27,300,000	13,000,000			14,300,000	H22.2.26	機械の整備により品質が向上したが、当地区は比較的遅場所であることに加え、低温少雨の影響により摘採のピークが遅れてしまった。荒茶平均価格は下がってしまった。今後、生産面では、みる非摘採による高品質な生産の確保を目指す。加工面では、茶師に製造研修を行い、導入した加工機の効率的稼働と、良質茶の製造を目指す。	低温少雨による茶期の遅れや原産事故の影響による風評被害などが原因で、荒茶平均販売価格は下がったことから、荒茶平均販売価格の目標を達成することができなかった。今後は、引き続き良品質茶を生産するとともに、荒茶販売価格の向上を目指すよう指導する。	
菊川市	東富田第一茶農業協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,054	1,028	1,045	964	1,192	-65.2%	荒茶平均販売価格は8.5%低下した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【契約取引】事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	36.6%	30.0%	122.0%	契約取引の割合が36.6%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機1台 ・精揉機120K 1台 ・ワイド粗揉機1台 ・揉捻2台 ・熱交換機1.5kw 3台 ・マイコンフロー3.2kw 1台 ・葉打機200K 1台 ・輸送機等17台	60,900,000	29,000,000			31,900,000	H22.2.26	機械の導入により取引先の評価も良く、満足いく製品ができたが、良質生産の生産技術が今以上に必要である。	低温少雨による茶期の遅れや原産事故の影響による風評被害などが原因で、荒茶平均販売価格は下がったことから、目標を達成することができなかった。今後は、引き続き良品質茶を生産するとともに、荒茶販売価格の向上を目指すよう指導する。	
菊川市	(株)英緑園	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	1,206	1,206	1,208	1,346	1,363	89.1%	荒茶平均販売価格は11.6%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	22a	22a	32a	40a	40a	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は81.6%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉自動コンテナ5,950K 2台 ・輸送機等11台	48,730,000	23,200,000			25,530,000	H22.2.26	今後は事業成果が最大限引き出せるよう、生産取扱い数量を拡大していき生産性向上を図り、事業効果を明確にしている。	荒茶平均販売価格は計画時より上がったが、天候不順による茶期の遅れや原産事故による風評被害などにより目標にはわずかに到達しなかった。茶師との信頼関係の構築や販路開拓に努めるよう指導する。	
菊川市	公文名茶農業協同組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	10a	10a	10a	15a	15a	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は50.0%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【契約取引】事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	100.0%	契約取引の割合が30.0%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機120K 3台 ・精揉分配制御盤 2式 ・輸送機等12台	35,500,000	19,000,000			20,900,000	H22.2.26	精揉機導入により、形状等の品質が良くなった。施設設計等を再度見直し、製品内容を充実させ、良質茶生産を目指す。	成果目標に掲げた高品質品種の作付、契約取引の実施、ともに目標達成され価格の安定が図られた。今後も良質茶生産と価格安定に向けた取り組みを継続するよう期待する。	

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニ② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
菊川市	湖海寺共栄茶農協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上) 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	76.0%	82.2%	51.2%	79.2%	58.1%	-2.9%	下級茶歩留りは0.6%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引) 事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	54.2%	30.0%	180.6%	契約取引割合が54.2%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・精揉機120k 3台 ・制餅機1台 ・輸送機等4台	22,785,000	10,850,000			11,935,000	H22.3.26	茶師も機械の使用に慣れ製品は安定し販売先の評価は良かったが、今年度は、販売価格が最も高い一番茶間に手摘み摘採を行わなかったことによる要因となった。今後は、共同摘採組織の導入を検討し、適期摘採による品質の向上を目指す。	低温少雨による茶開の遅れなどにより荒茶価格が下がり、下級茶の歩留まりは増大した。今後は、茶商との情報交換を密にし、茶商の求める良質茶を生産することにより、下級茶歩留りを低減するよう指導する。	
掛川市	農事組合法人中山茶業組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上) 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	33.0%	—	32.3%	40.8%	24.0%	-86.6%	下級茶歩留りは7.8%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化) 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	1.28ha	1.62ha	1.62ha	1.62ha	1.62ha	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は26.5%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・ポイラー 2台 ・蒸機 2台 ・固定網処理機 1台 ・精揉機 3台 ・精揉分配装置 一式 ・集中管理装置 一式 ・付帯施設 一式	73,500,000	35,000,000		3,500,000	35,000,000	H22.3.12	放射性セシウムの風評被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。製茶機械は機能向上したことで、良質茶の特徴を活かした自販の一層の増加に取り組みとともに、新規茶商を開拓し、販路の拡大を図ってきたい。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等で、荒茶価格的には目標を達成できなかった。小売のシェアは32%と高いので、一層の増加を図るとともに、関係機関と連携しながら新たな茶商の開拓等にも取り組んでいきたい。	
掛川市	農事組合法人御林茶業組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上) 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	38.0%	—	50.8%	46.9%	28.0%	-89.0%	下級茶歩留りは8.9%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化) 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	1.64ha	1.90ha	2.06ha	2.06ha	2.00ha	116.6%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は25.5%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・ポイラー 1台 ・蒸機 1台 ・精揉機 2台 ・精揉分配装置 一式 ・結束機 1台 ・付帯施設 一式	25,357,500	12,076,000		1,207,000	12,076,500	H22.3.11	放射性セシウムの風評被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。製茶機械は機能向上したことで、良質茶の特徴を活かした自販の増加には取り組んできた。今後は、園地巡回による生産品質の向上と、茶商との連携により、ニーズにあった荒茶生産を行っていく。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等で、荒茶価格的には目標を達成できなかった。品質的には良好なので、関係機関と連携しながら新たな茶商の開拓等にも取り組んでいきたい。	
掛川市	農事組合法人山東茶業組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上) 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	19.0%	—	38.2%	43.9%	14.0%	-49.0%	下級茶歩留りは24.9%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(品種構成の適正化) 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	1.13ha	1.45ha	1.45ha	1.45ha	1.45ha	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は28.3%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉コンテナ投入装置 2台 ・蒸機 2台 ・葉ふるい機 1台 ・葉打機 1台 ・ワイド粗揉機 1台 ・粗揉機 2台 ・揉捻機 2台 ・背面中揉機 1台 ・中揉機 2台 ・集中管理装置 一式 ・乾燥機 1台 ・付帯施設 一式	191,100,000	91,000,000		9,100,000	91,000,000	H22.3.9	低温少雨により茶開が遅れ、さらに震災の影響もあったため、価格が下られ限平均単価を下回る荒茶が増加した。今後は計画的な茶工場運営や茶園管理を行い、高品質で特徴のある茶の生産を目指すしていく。	成果目標の高品質品種の作付は目標を達成したが、下級茶歩留まりは大幅に下回った。良質の茶の生産に努め、今後の単価上昇に期待する。	

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・産種等名)①	メ ニュー ① 成果目標の 具体的な内 容①	事業実施後の状況①						メ ニュー ② (対象 作物・ 産種等 名)②	成果目標の 具体的な内 容②	事業実施後の状況②						特別 算の 取組の 具体的 実績	事業内容 (工種、施設区分、機 造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了 年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成 20年)	1年後 (平成 21年)	2年後 (平成 22年)	3年後 (平成 23年)	目標値 (平成 23年)	達成率			計画時 (平成 20年)	1年後 (平成 21年)	2年後 (平成 22年)	3年後 (平成 23年)	目標値 (平成 23年)	達成率				交付金	都道 府県 費	市町村 費	その他					
掛川市	富士東製茶業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	34.0%	—	29.3%	48.6%	25.0%	-182.2%	下級茶歩留りは14.6%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	0.96ha	0.96ha	1.06ha	1.25ha	1.13ha	170.5%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は30.2%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・粗揉機 4台 ・揉捻機 2台 ・熱風発生装置 2台 ・合粗機 2台 ・付帯設備 一式	77,700,000	37,000,000		3,700,000	37,000,000	2022.3.11	放射性セシウムの風表被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。これまでに、小売に力を入れてきたので、その一層の増加を図る。また、25年度から取引茶商が8社から5社に増加するので、販路の拡大により、荒茶価格の増加を目指す。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等で、価格的には目標を達成できなかった。取引希望茶商が増えるなど、品質的には評価されているので、引き続き目標達成に向けた良質茶生産を期待したい。	
掛川市	農事組合法人山口総合製茶	畑作物・地域特産物(茶)	41.0%	—	35.7%	48.7%	30.0%	-70.0%	下級茶歩留りは7.7%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	3.30ha	3.93ha	3.93ha	4.04ha	3.93ha	117.4%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は22.4%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉カッター2台 ・葉打ち機 1台 ・ワイド粗揉機1台 ・粗揉機 3台 ・揉捻機 3台 ・中揉機 4台 ・中火茶選別機1台 ・精揉機 6台 ・精揉分配装置2台 ・荒茶用複合機1台 ・総合仕上機 1台 ・製函機 1台 ・計量装置機 1台 ・付帯設備 一式	504,950,000	93,500,000		9,950,000	99,500,000	2022.3.10	機械の機能が向上したため、良質な生産を確保するために、みるぞでの摘採を実施した結果、高品質な荒茶製造を行うことができた。茶商・消費者等の様々なニーズに応えるためやぶきた以外の品種の導入も行っており、新しい手の要望にあった良質な荒茶製造に力を注ぎ、生産・販売に努めていく。	成果目標の高品質品種の作付けは目標を達成したが、下級茶歩留りは大幅に下がった。茶工場の効率的な運営に努め、販売方法などについて検討する。	
掛川市	農事組合法人マサル製茶組合	畑作物・地域特産物(茶)	36.0%	—	17.5%	28.4%	26.0%	76.0%	下級茶歩留りは7.6%減少した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	1.04ha	1.19ha	1.34ha	1.47ha	1.37ha	130.3%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は41.3%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸機 一式 ・葉打ち機 1台 ・粗揉機 2台 ・揉捻機 2台 ・精揉機 1台 ・集中管理装置 一式 ・付帯設備 一式	35,555,250	17,142,000		1,714,000	17,143,250	2022.2.19	気象状況により茶期が遅れ、その結果露災の影響等による低調な取引の影響を受け下級茶歩留まり率は下がってしまったが、小売価格割合の増加によりある程度水準で保たれている。従来品種とは異なる高品質品種の作付面積の増加は順調に推移したため今後は特徴のある茶の生産を進めていき、小売販売割合の増加をさらに図っていく。	成果目標の高品質品種の作付けは目標を達成したが、下級茶歩留りは下がった。直販や茶商と積極的な交流により、荒茶単価の目標は達成できると考えられる。	

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜産等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜産等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
掛川市	株式会社静岡茶通信販売センター	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	36.0%	—	27.7%	40.9%	26.0%	-49.0%	下級茶歩留りは4.9%減少した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【品種構成の適正化】 事業実施地区において従来品種と異なる高品質品種の作付面積の増加	47a	55a	55a	55a	55a	100.0%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積は17.0%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・生葉カッター3台 ・生葉流し計 6台 ・蒸機 4台 ・ポイラー 5台 ・蒸葉処理機 4台 ・葉打機 4台 ・粗揉機 11台 ・揉捻機 11台 ・中揉機 12台 ・風力選別 2台 ・ライン制御装置4台 ・精揉機 20台 ・乾燥機 4台 ・荒茶用複合機4台	552,300,000	149,000,000	10,000,000	279,400,000	H22.3.15	販売額を増加させることを目標に、高いレベルでの品質の均一化を図るため、圃場別圃地調査及び詳細の調査を行うことにより、適正な茶園管理が実施されており、製品の品質向上に繋がっている。今後品質向上のために取組を継続していき高品質な荒茶製造を行うことにより価格の増加を目指していく。	成果目標の高品質品種の作付けは目標を達成したが、下級茶歩留りは大幅に下回った。適切な茶園管理に努めることにより高品質の茶の製造を期待する。			
掛川市	農事組合法人丸瓶茶業組合	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	42.0%	—	27.7%	26.4%	34.6%	216.6%	下級茶歩留りは15.6%減少した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【契約取引(契約取引)】 事業実施地区において契約取引割合の増加	9.0%	—	41.7%	41.2%	39.0%	107.3%	契約取引割合が32.2%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・ポイラー 4台 ・粗揉機 4台 ・付帯設備 一式	57,750,000	27,800,000	2,750,000	27,500,000	H22.3.28	今後より計画的な茶工場運を行い、高品質な茶の生産を目指す。	契約取引の割合を増大させることができ、荒茶平均単価が上昇・安定により、下級茶歩留まりの割合を低減することができた。事業効果が得られた。			
掛川市	(有)掛川グリーンファーム	【畑作物・地域特産物(茶)】 【栽培技術】 事業実施地区において窒素成分施肥量の削減	57.5kg	—	52.5kg	49.5kg	50.0kg	106.6%	窒素成分施肥量は13.9%削減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【コストの削減】 事業実施地区において生産費コストの削減	244.93 9円	—	200.26 6円	237.49 6円	195.95 1円	15.1%	生産費コストが3.0%削減した	共同利用機械整備 兼用型茶複合管理機 ・兼用型摘採・せん枝機 2台	11,215,040	3,561,000		7,658,040	H22.3.20	窒素成分施肥量は成果目標を達成した。生産コストの削減については、契約先の意向により規模を縮小し、品質重視の栽培へ転換した結果、生産コストが上昇してしまっ。削減のために当然契約が必要になってくるのだが、品質重視となっている今は投資も必要となってくる。H23は多少増額となったが、H24以降については削減できるよう努めている。	栽培管理を見直すことで窒素成分施肥量を削減できた。生産コストの削減は、経営規模の縮小や品質重視の栽培への転換により目標達成には至らなかった。今後、一層の生産コスト削減に取組むよう指導する。			
袋井市	有限会社秋田製茶	【畑作物・地域特産物(茶)】 【荒茶の品質向上】 事業実施地区において下級茶歩留りの低減	10.0%	40.0%	39.0%	55.0%	7.6%	-1375.0%	下級茶歩留りは45.0%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 【契約取引(契約取引)】 事業実施地区において契約取引割合の増加	9.0%	21.0%	30.0%	45.0%	39.0%	120.0%	契約取引割合が36.0%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・200Kライン一式	126,000,000	60,000,000		66,000,000	H22.3.20	地域の茶生産拠点となる近代的な荒茶加工施設の完成により契約生産農家の生産意欲向上に繋がっており、生産量が増加した。成果目標の下級茶歩留り率は自然条件により摘採時間に大きく左右され、目標達成に至らなかった。	成果目標の高品質品種の作付けは目標を達成したが、下級茶歩留りは大幅に下回った。県全体の平均単価の減少以上に、単価が下落しており、原因の究明に努めるとともに、品質の良い茶の計画的な生産と売り先との連携推進を図るよう支援していく。			

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	× ニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、機 器、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了 年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成 20年)	1年後 (平成 21年)	2年後 (平成 22年)	3年後 (平成 23年)	目標値 (平成 23年)	達成率				計画時 (平成 20年)	1年後 (平成 21年)	2年後 (平成 22年)	3年後 (平成 23年)	目標値 (平成 23年)	達成率					交付金	都道府 県費	市町村 費	その他				
袋井市	遠山中農協同組合	穀類乾燥調製貯蔵施設再編利用	55.5%	43.1%	68.8%	83.9%	100.0%	63.8%	穀類乾燥調製貯蔵施設の利用	【穀類乾燥調製貯蔵施設等再編利用】(穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率)事業実施地区において穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率を100%以上にす	100.0%	—	83.0%	74.0%	85.0%	173.3%	物財費は26.0%削減した。	耕種作物共同利用施設 ・乾燥機14基 ・計画施設増強工事一 式 ・粉砕型増設工事	78,175,650	37,226,000			40,949,650	2022.3.19	物財費削減は目標を達成できた。利用率については小麦の単収が低下していること、主食用米の新規利用者の伸び悩みが課題であり、小麦の単収向上のため栽培技術の改善を進めるとともに、主食用米については、利用主体である農業法人への農地集積や新たな利用者の確保により利用拡大を図るよう指導する。	小麦は地方低下や雑草多発等のため単収が低く、また主食用米は利用面積が増えず利用目標に達しなかった。小麦の単収向上のため栽培技術の改善を進めるとともに、主食用米については、利用主体である農業法人への農地集積や新たな利用者の確保により利用拡大を図るよう指導する。			
浜松市	鏡山製茶組合	畑作物・地域特産物(茶)	2,983 円/kg	2,702 円/kg	3,682 円/kg	2,784 円/kg	3,400 円/kg	-47.7%	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	0.0%	0.0%	0.0%	38.0%	30.0%	126.6%	契約取引量の割合が38%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・蒸気機処理機1台 ・ボイラー1台 ・回分式葉打機1台 ・中揉機1台(背面中揉機) ・精揉機3台 ・合組機2台	53,235,000	25,350,000			27,885,000	2022.3.10	放射性セシウムの風評被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。製茶機械は機能向上したことで、良質茶の特徴を活かした自販の増大に取組むとともに、関係機関と連携した新たな茶商の開拓等にも取り組んでいきたい。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等、荒茶価格的には目標を達成できなかった。小売のシェアは32%と高いので、一層の増加を図るとともに、関係機関と連携した新たな茶商の開拓等にも取り組んでいきたい。			
浜松市	丸芝製茶協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	3,096 円/kg	2,715 円/kg	3,318 円/kg	3,134 円/kg	3,500 円/kg	9.4%	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	0.0%	0.0%	0.0%	57.0%	30.0%	190.0%	契約取引量の割合が57%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・回分式葉打機1台 ・粗揉機2台 ・精揉機3台 ・合組機2台	55,440,000	26,400,000			29,040,000	2022.3.10	放射性セシウムの風評被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。製茶機械は機能向上したことで、良質茶の特徴を活かした自販の増加には取組んできた。今後は、関係機関による生産品質の向上と、茶商との連携により、ニーズにあった荒茶生産を行っていく。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等、荒茶価格的には目標を達成できなかった。品質的には良好なので、関係機関と連携しながら、新たな茶商の開拓等にも取り組んでいきたい。			
浜松市	芦箱製茶共同組合	畑作物・地域特産物(茶)	2,988 円/kg	3,384 円/kg	3,322 円/kg	3,750 円/kg	3,400 円/kg	184.9%	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	333.3%	契約取引量の割合が100%増加した	農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・振動式切葉取機2台 ・粗揉工程正逆コンベア2台 ・乾燥工程正逆コンベア2台 ・乾燥工程コンベア7台 ・ベルトコンベア(機付)2台	15,225,000	7,250,000			7,975,000	2022.3.10	契約取引、荒茶平均単価とも、目標をクリアすることができた。今後引き続き良質茶生産に取り組んでいく。	放射性セシウムの風評被害等があった中で、価格、契約取引とも目標を達成できたことは評価できる。			

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率			計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
浜松市	杉地域茶生産組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】(荒茶の品質向上)事業実施地区において荒茶平均販売価格の増加	3,531円/kg	3,092円/kg	3,560円/kg	3,106円/kg	4,500円/kg	-43.3%	荒茶平均価格は12.0%減少した。	【畑作物・地域特産物(茶)】(契約取引)事業実施地区において契約取引割合の増加	0.0%	0.0%	0.0%	43.0%	30.0%	143.3%	契約取引割合が43%増加した		農産物処理加工施設 荒茶加工機 ・振動式切葉取機2台 ・ボイラー2台 ・流動式粗揉機1台 ・粗揉機4台 ・色選別機1台 ・合組機2台	101,355,000	48,250,000			53,076,000	222.3.10	放射性セシウムの風表被害等により、荒茶販売価格は低く抑えられた。これまで、小売に力を入れてきたので、その一層の増加を図る。また、25年度から取引茶商が8社から5社に増加するので、販路の拡大により、荒茶価格の増加を目指す。	放射性セシウムによる風評被害や凍害等で、価格的には目標を達成できなかった。取引希望茶商が増えるなど、品質的には評価されているので、引き続き目標達成に向けた良質茶生産を期待したい。	

都道府県平均達成率	71.1%	総合所見	茶の加工施設を中心に事業を実施したが、気候的要因や原発事故の影響による風評被害等により荒茶販売価格が下落し、2/3の地区で目標を達成することができなかった。達成率の低い事業については、目標達成のための具体的な取組に向け支援していく。
-----------	-------	------	--